

PAT No. 4203516 (日本)
7627949 (アメリカ)

Hyper S-Stage + D KIT C Type (106cc / SCUT / デコンプ) 取扱説明書

- ・このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

商品番号 01-05-5412
モンキー／ゴリラ Z50J-2000001～
AB27-1000001～AB27-1809999

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

- デコンプレッサー機構付きカムシャフトを採用することで、106cc化されたS-Stage(SCUT)ボアアップキットでも、ミッションやキックシャフト等への負担を軽減する事が出来、従来より軽いキック力でのエンジン始動が可能になりました。

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

SステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずCR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。尚、抵抗無しプラグの場合はCR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

▲ 急発進・急加速についてのご注意 ▲

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

▲ 当キット使用についてのご注意 ▲

本キット取り付けには、強化クラッチ（フリクション3枚タイプ以上の物）と強化オイルポンプが必要となります。
※この取り付け部品をつけていない場合、保証の対象にはなりません。

▲ スプロケットについてのご注意 ▲

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

☆ ご使用前に必ずお読み下さい ☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の変更(注:登録手順は各市町村により異なる恐れがあります。)を行い、強制賠償保険の排気量変更の申請を行って下さい。
- ◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎シリンドラー部より聞こえてくる音が大きく感じる事があります。
- ◎外気温が高い場合はオイルクーラーの取り付けと使用をお勧めします。
- ◎付属のエアフィルターを取り付けての雨天走行は出来ません。エンジン不調の原因となりますのでご注意下さい。

▲ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ※シリンドラーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行ってください。
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

▲ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

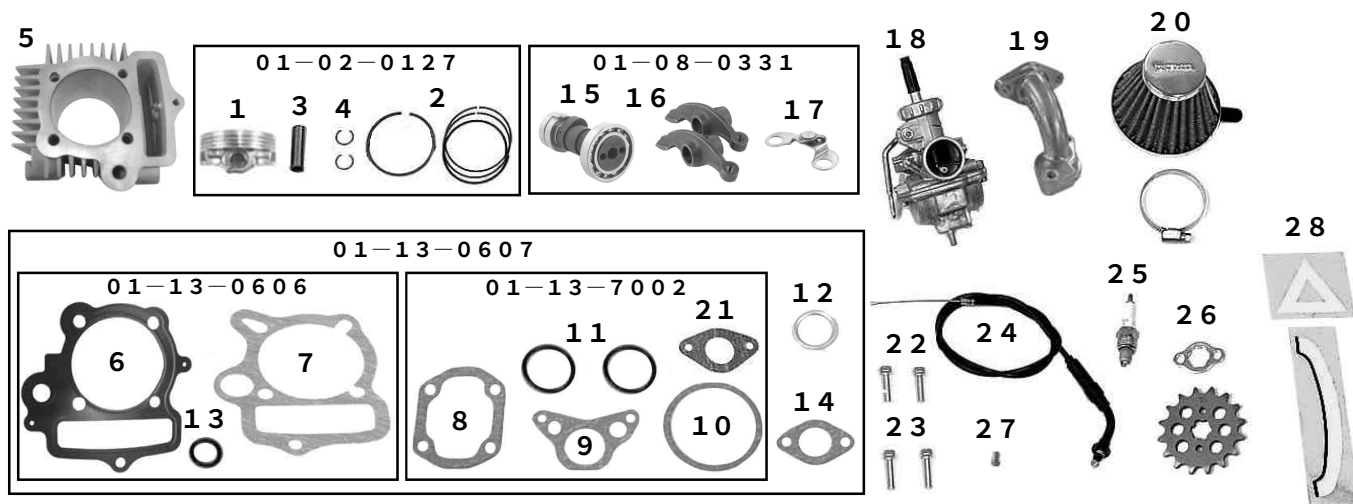
- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

- ◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承ください。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

Lesson

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるまで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
- ◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から反時計方向へ3～4回転回すことをいい、取り外すということは反時計方向へネジが取れるまで回すことをいいます。
- ◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにすることをいいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてどれぐらいの力で締めるのか・折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

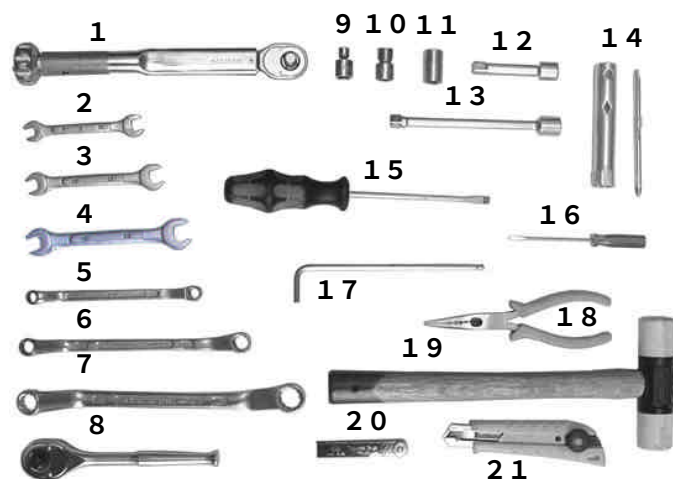
◇キット内容



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数	番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1		1	15	カムシャフトCOMP.	1	14100-GDH-T00	1
2	ピストンリングセット	1	13012-RAS-T00	1	16	バルブロッカーアーム	2	14431-036-T11	1
3	ピストンピン	1	00-01-0091 (クリップ付)	1	17	ストッパープレート	1	00-01-0076	1
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003	6	18	PC18 キャブレター-ASSY.	1	03-03-031	1
5	シリンダー	1		1	19	インテークマニホールド	1	17111-GB0-T00	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1		1	20	エアフィルター (バンド付き)	1	03-01-110	1
7	シリンダーガスケット	1		1	21	キャブレターガスケット	1	16201-GEY-T01	1
8	ヘッドカバーガスケット	1		1	22	ソケットキャップスクリュー 6X20	2	00-00-0043	10
9	右サイドカバーガスケット	1		1	23	ソケットキャップスクリュー 6X25	2	00-00-0089	10
10	左サイドカバーガスケット	1	01-13-7002	1	24	スロットルケーブル 710mm	1	09-02-0071	1
11	タペットキャップリング	2		2	25	スパークプラグ (CR8HSA)	1	NGK-CR8HSA	1
12	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064	2	26	ドライブスプロケット (フィキシングプレート付) 16T	1	02-05-051	1
13	ラバーバックシン	1	00-01-0066	2	27	メインジェット #85	1	00-03-0041	1
14	インレットパイプガスケット	1	91301-181-T01	1	28	原付2種マークセット	1		1

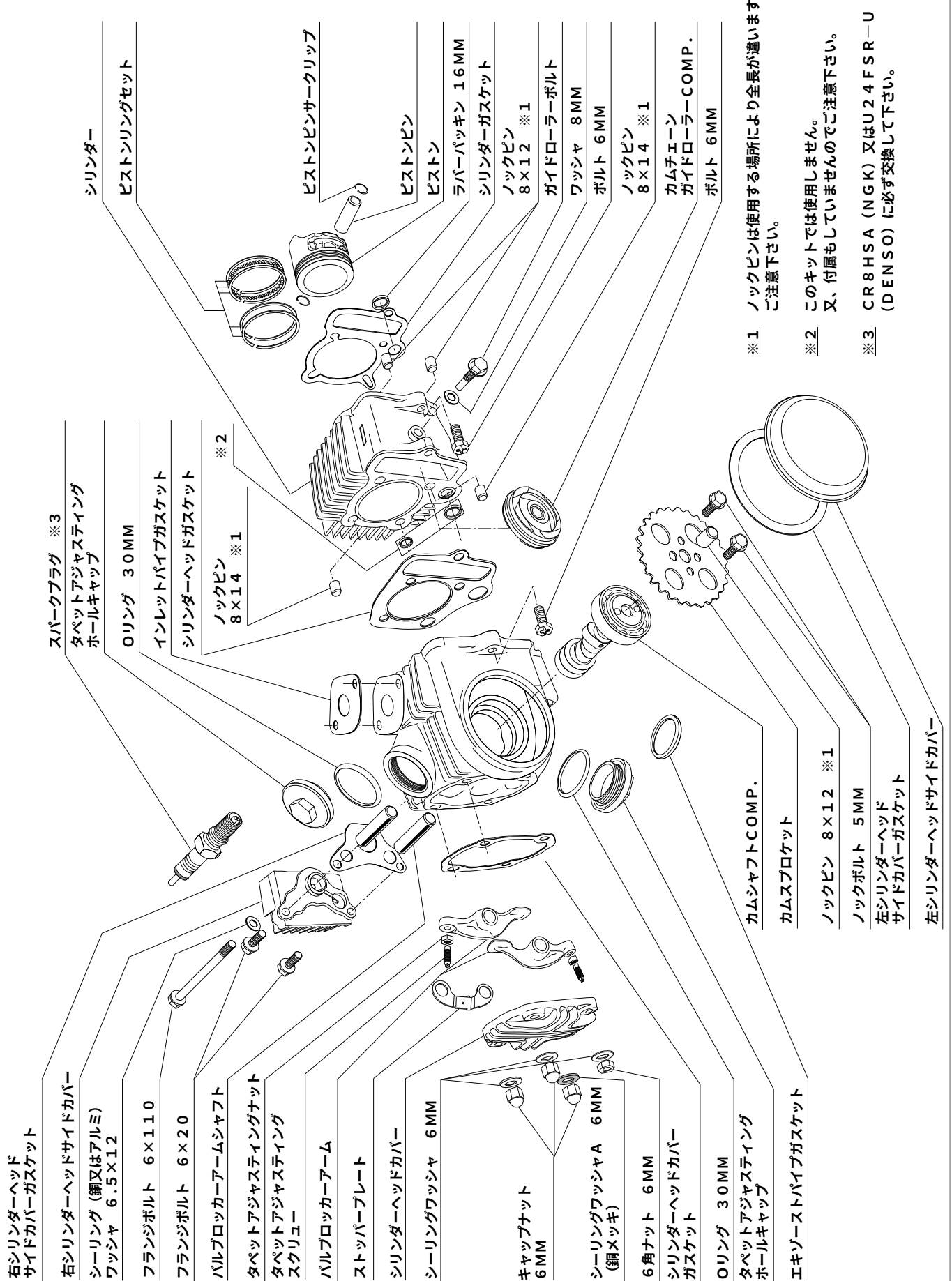
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承ください。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

◇取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ	14	スパークプラグレンチセット (車載工具)
2	スバナレンチ 8-10mm	15	ドライバー-マイナス 中
3	スバナレンチ 10-12mm	16	細軸ドライバー-マイナス
4	スバナレンチ 12-14mm	17	六角棒レンチ 5mm
5	オフセットレンチ 8-9mm	18	ニードルノーズプライヤ
6	オフセットレンチ 10-12mm	19	プラスチックハンマー
7	オフセットレンチ 14-17mm	20	シクネスゲージ
8	ラチェットハンドル	21	カッターナイフまたはスクレーパー
9	ソケット 8mm		チェーンカッター
10	ソケット 10mm		針金等
11	ソケット 12mm		ウエス
12	エクステンションバー 小		エンジンオイル
13	エクステンションバー 中		

各部品名称



STD部品取り外し

1. シートを取り外す



◇サイドカバーを取り外す。



◇シート下のナットを緩め、ボルトを取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 12mm
エクステンションバー 小
オフセットレンチ 10mm



◇リアショックのナット2個を緩める。

使用工具
オフセットレンチ 14mm



◇シートを後方に引いて取り外す。

2. フューエルタンクを取り外す



◇フューエルコックをOFFにする。



◇チューブクリップをずらし、キャブレターのフューエルチューブの接続を外す。



◇フューエルタンクをフレームにとめているボルトを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 10mm



◇フューエルタンクを後方に引いて取り外す。

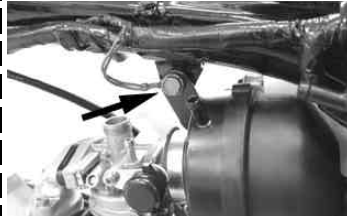
3. キャブレターを取り外す



◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取る。



◇ストレージタンクのホース(フレームNo. AB 27-の車両の場合)を抜き取る。



◇エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小



◇インレットパイプをシリンダーヘッドにとめているボルト2本を取り外しインレットパイプ、キャブレター、エアクリーナーを取り外す。

使用工具
オフセットレンチ 8mm



◇アース線をエアクリーナーステー部のボルトでフレームに取り付ける。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小

規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)



クランプ ワイヤハーネス

◇ワイヤーハーネスをフレームの下側になるように移動させる。

4. マフラーを取り外す



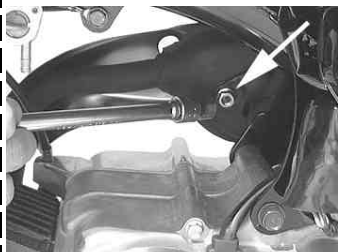
◇EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10mmスパナ



◇マフラー本体を止めている6角ボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
12mmボックスレンチ&中ロングジョイント

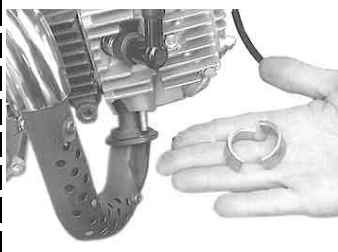


◇マフラー本体裏側に止まっているナットを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
10mmボックスレンチ&中ロングジョイント



◇フランジのカラー2個を取り外し外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。



5. フロントフェンダーを取り外す



◇フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を反時計方向に回し取り外す。

使用工具

1 0mmボックスレンチ&ショートジョイント

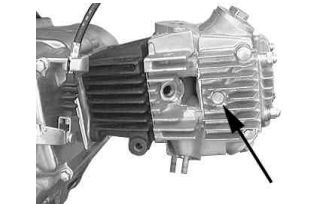
6. スパークプラグを取り外す



◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。

◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

7. シリンダーヘッド左カバーを取り外す



◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2〜3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)

使用工具

1 0mmボックスレンチ



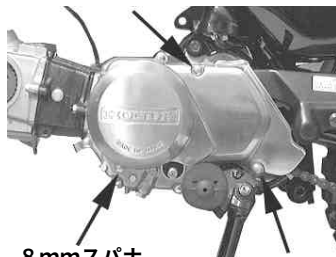
8. クランクケース左カバー取り外す



◇シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを反時計方向に回し取り外す。

使用工具

1 0mmメガネレンチ



8 mmスパナ

◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を反時計方向に回し取り外す。

使用工具

8 mmスパナ

8 mmボックスレンチ&ショートジョイント

9. タペットキャップ2個を取り外す



◇タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具

1 7mmメガネレンチ

10. カムスプロケットを取り外す



切り欠き

Oの刻印



切り欠き

F

T

フライホイール

◇フライホイールのTマークとカムスプロケットのOマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



◇フライホイールを固定しカムスプロケット6角ボルト2個を反時計方向に回し取り外す。

使用工具

8 mmボックスレンチ

1 4mmメガネレンチ (フライホイール固定用)

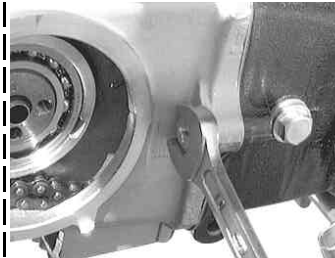


◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。

◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。

◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

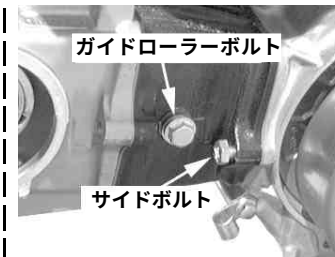
11. シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具

1 0mmスパナレンチ



ガイドローラーボルト

サイドボルト

◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。

使用工具

1 0mmスパナレンチ&1 0mmメガネ

12. シリンダーヘッドカバーを取り外す



◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット4個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。

◇ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す。

使用工具

1 0mmボックスレンチ



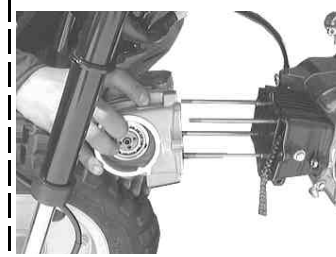
◇ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す) シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

13. シリンダーヘッドを取り外す

◇フロントタイヤの空気を抜く。(プラスドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けますのでシューという音がでなくなるまで押し続けます。)



◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



◇フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理解いただきたいと思います。

◇ノックピン2個は再使用するので取り外しておく。

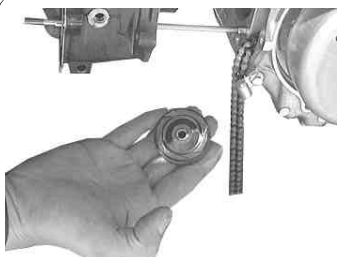
14. シリンダーを取り外す



◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)

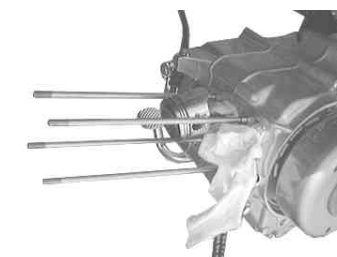


◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



◇ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。

15. ピストンを取り外す



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



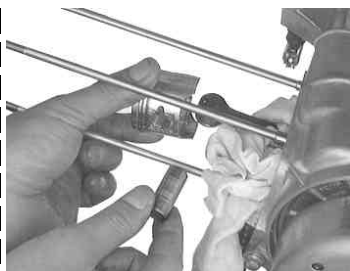
ピストンピンサークリップ

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れる。

使用工具
先の細いマイナスドライバー



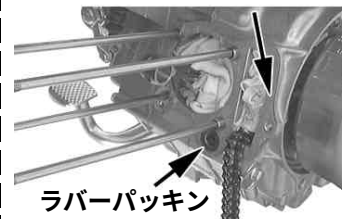
◇ピストンピンをピストンピンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンピンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれる。



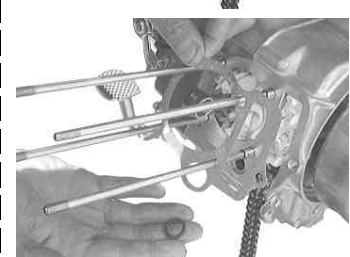
◇ピストンを取り外す。

16. シリンダーガスケット・ラバーパッキン・ノックピンを取り外す

シリンダーガスケット



ラバーパッキン



◇ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面にはみ出ている場合は切り取っておく。クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。

17. クラッチ及びオイルポンプの取り付け

※当キットを使用するには、オイルポンプとクラッチの強化が必要です。

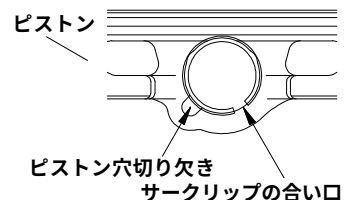
※クラッチ及びオイルポンプは、現時点での作業からの取り付けが大変行い易いです。

S-StageKIT 取り付け

1. ピストンを組み付ける

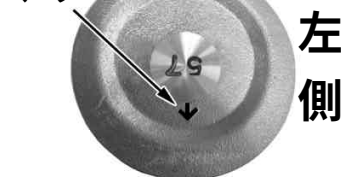


※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける事。



◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

エキゾースト マーク



左側

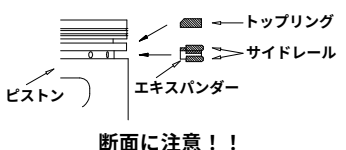
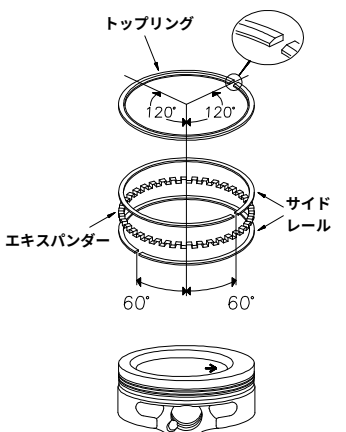
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。

◇ピストンピンサークリップは左側を先にはめ込みます。

使用工具
先の細いマイナスドライバー

◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口をそろえる



断面に注意！！



◇オイルリングエキスパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



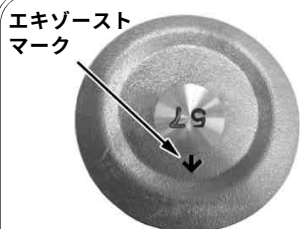
◇上オイルリングサイドレールを入れる。



◇トップリングを入れる。



◇ピストンピン部とコンロッド小端部にエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。



◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



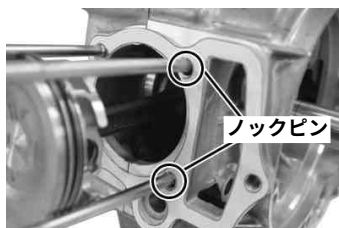
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行う事。目に入らぬように防護メガネなどを着用する事。
◇詰っていたウエスを取り外す。

2. シリンダーの取り付け

◇シリンダーガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。



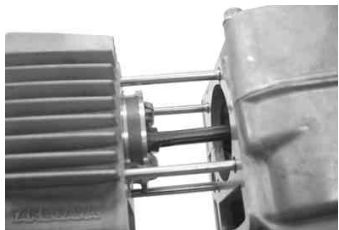
◇シリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。



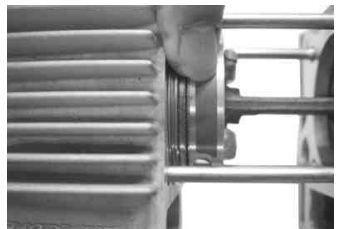
◇ノックピン2個が取り付けられているか点検。



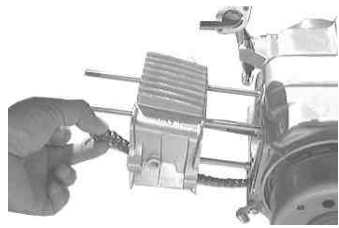
◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



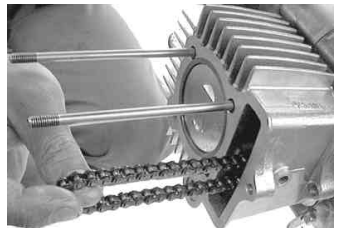
◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



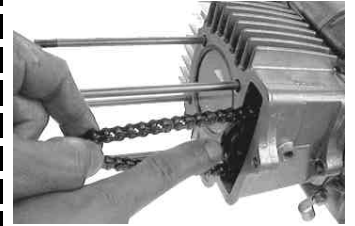
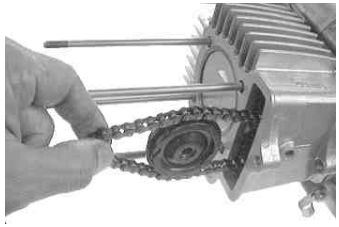
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にながら指で押し1本づつはめる。



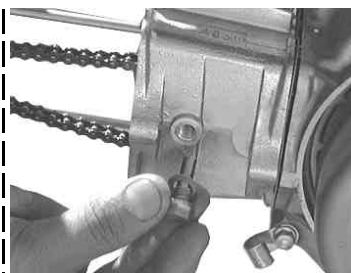
◇ピストンがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースに取り付ける。



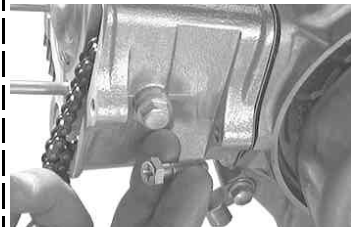
◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。



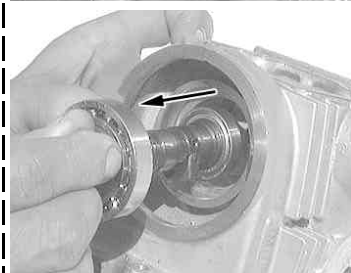
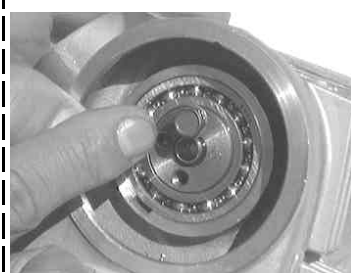
◇ガイドローラーボルトを取り付ける。（指で閉まる程度まで仮止め）



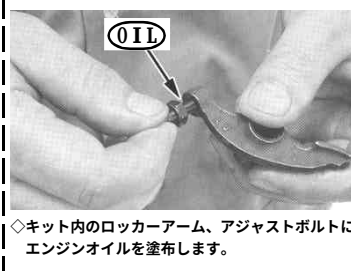
◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。（指でしめる程度まで仮止め）



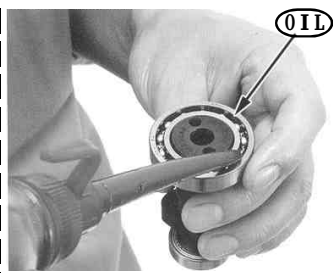
◇オリジナルのシリンダーヘッドのロッカーアームシャフトとロッカーアームを取り外します。



◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたきと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のロッカーアーム、アジャストボルトにエンジンオイルを塗布します。



◇専用のカムシャフトの両端のベアリングにエンジンオイルを塗布します。



◇カム山にモリブデン溶液を塗布します。



◇キットのシリンダーヘッドにカムシャフトをセットします。



◇シリンダーヘッドにキット内のストッパープレートのストッパー部をシリンダーヘッド右側に向け、ロッカーアームと共にセットします。

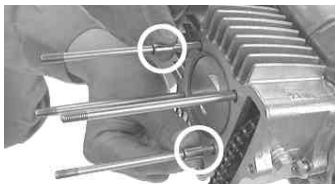


◇オリジナルのロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、ロッカーアームシャフトのネジ部を外側に向け、ロッカーアームとストッパープレートの穴位置を合わせ、ロッカーアームシャフトを取り付けます。



4. シリンダーヘッド取り付け

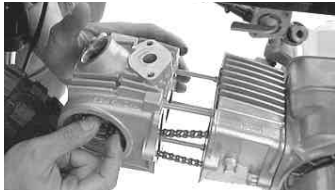
◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



◇シリンダーにノックピン2個を取り付ける。

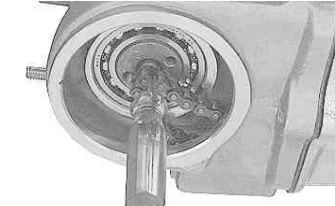


◇ヘッドガasketを取り付ける。

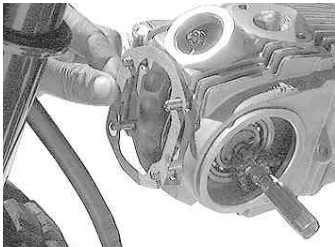


◇タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。

◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。



◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。

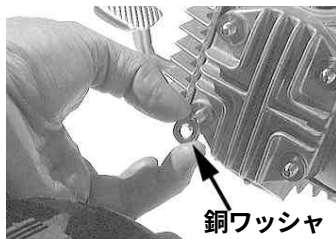
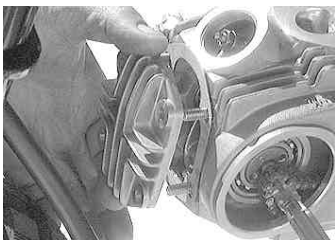


◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。

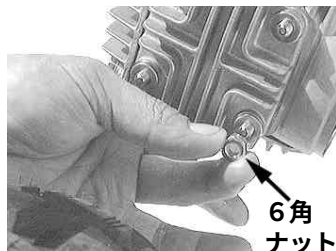


マークに注意

◇矢印は下の方向です。

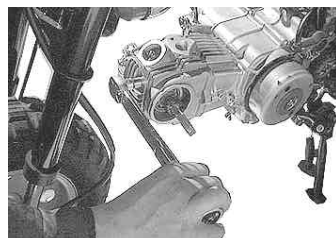


銅ワッシャ



六角ナット

◇ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が六角ナット残りの3つがふくらみナット)



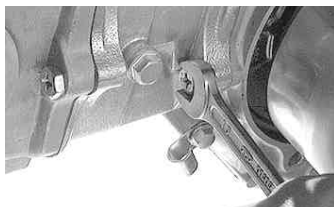
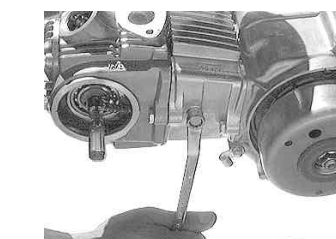
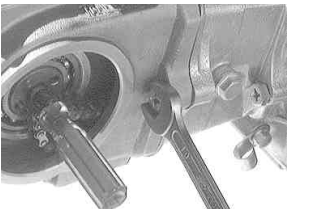
◇ヘッドナットを均等に締め付ける。(トルクレンチがない場合は対角に少しずつ締め付ける)
締め付けトルク 12 N・m (1.2 kgf・m)

使用工具
10mmボックスレンチ



◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

使用工具
10mmスパナレンチ
10mmメガネレンチ



締め付けトルク
ガイドローラーボルト
10 N・m (1.0 kgf・m)
サイドボルト上下
10 N・m (1.0 kgf・m)

5. カムスプロケットの取り付け



切り欠き

F T

◇フライホイールのTマークをクランクケースの切り欠き部に合わせる。



◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にカムシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

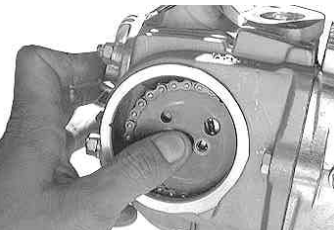


◇カムシャフトにノックピンを取り付ける。

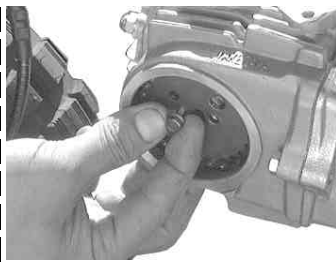


少しオイルが出てきますので
締めた後は拭き取って下さい。

◇チェンジペダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンションナーが緩むのではめやすくなる。



◇カムスプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。カムスプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。

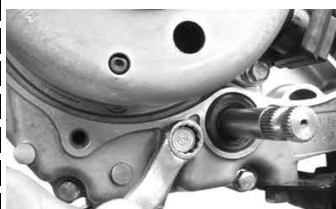


◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを2本締め付ける。
締め付けトルク 9 N・m (0.9 kgf・m)

使用工具
8mmボックスレンチ
14mmメガネレンチ



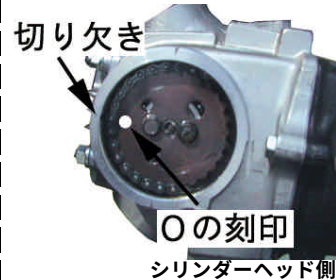
◇キット内の右サイドカバーガスケットをキット内の右サイドカバーにセットし、シリンダーヘッドにキット内のフランジボルト2本を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。
締め付けトルク 10 N・m (1.0 kgf・m)



◇先程、取り外したチェンジペダルシャフト横の六角ボルトを取り付ける。
締め付けトルク 10 N・m (1.0 kgf・m)

使用工具
10mmメガネレンチ

6. タペット隙間の調整
◇クランクシャフトを反時計方向に2回転以上回し、デコンプを解除した後、サイドマークを合わせます。
※クランクシャフトは時計方向に回さないで下さい。デコンプが作動し、バルブクリアランスの調整が出来ません。



切り欠き

Oの刻印

シリンダーヘッド側

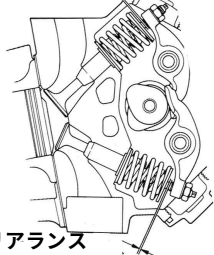
切り欠き



フライホイール側

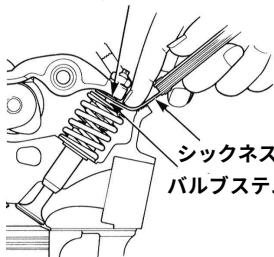
◇カムプロケットのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切りかきに合うように止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットとフライホイールが同時に合えばOK。

バルブクリアランス (インテーク側)



バルブクリアランス (エキゾースト側)

アジャストスクリュー

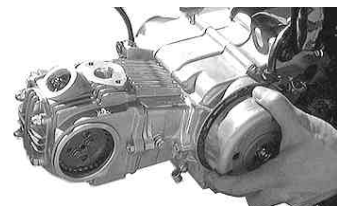


シクネスゲージ バルブシステム

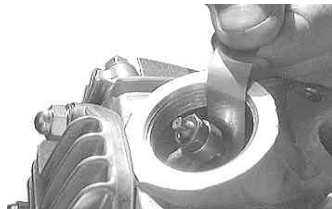


◇ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいきタペットアジャスティングスクリューとバルブシステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける(少し抵抗があるというのわからない場合0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03が緩く入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる)
IN、EX共に0.05ミリに合わせる。

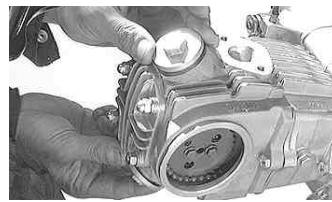
使用工具
ラジオペンチ、9mmメガネレンチ
シクネスゲージ



◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。
※クランクシャフトは時計方向に回さないで下さい。デコンプが作動し、バルブクリアランスの調整が出来ません。



◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は再度調整する。



◇タペットキャップ2個を取り付ける。

締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

使用工具
1.7mmメガネレンチ

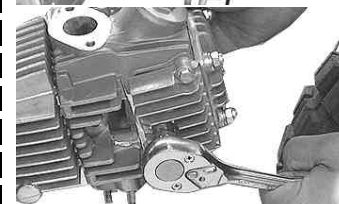
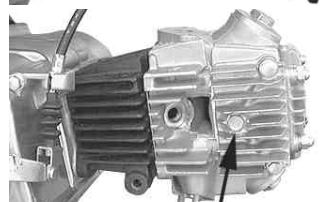
7. シリンダーヘッド左カバー取り付け



◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
(左サイドカバーがボルトを締めるときに右回りしないように回り止めを合わせる)



(回り止めを合わせる)

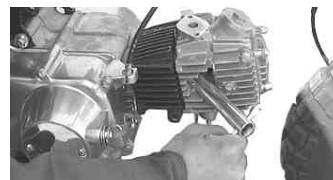


◇シリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を締める。

締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kgf・m)

使用工具
1.0mmボックスレンチ

8. スパークプラグの取り付け



◇車載工具がプラグレンチを使いプラグを取り付ける。

締め付けトルク 11 N・m
(1.1 kgf・m)

使用工具 プラグレンチ

◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

9. ノーマルマフラーの取り付け



◇マフラーは、先にテールパイプをリヤショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。



◇フランジのカラー2個をエキゾーストパイプを挟み込むようにして取り付ける。



◇EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)

締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)

使用工具
1.0mmスパナ



◇マフラー本体裏側にナットを取り付ける。(仮止め)

締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)

使用工具
1.0mmボックスレンチ&ロングジョイント



◇マフラー本体を止めている6角ボルトを取り付ける。(仮止め)

締め付けトルク 26 N・m
(2.7 kgf・m)

使用工具
1.2mmボックスレンチ&ロングジョイント

◇仮止めの三カ所を締め付ける。

10. ノーマルキャブレターの取り付け



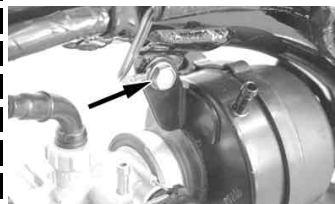
◇インレットパイプにOリングが付いていることを確認する。(フレームNO. Z50Jの車両)



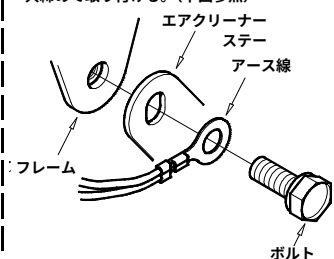
◇シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。

使用工具
8mmメガネレンチ

締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)



◇エアクリーナーステー部のボルトをアース線と共締めで取り付ける。(下図参照)



使用工具

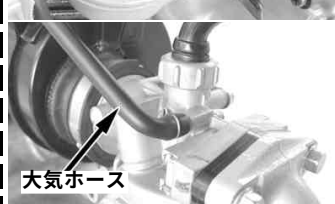
ソケット10mm&エクステンションバー中
締め付けトルク 10 N・m
(1.0 kgf・m)



◇ストレージタンクのホース(フレームNO. AB27-の車両)を取り付ける。



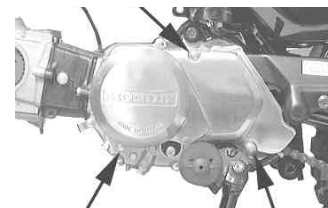
フューエルホース



大気ホース

◇フューエルホースと大気ホースを取り付ける。

11. クランクケース左カバーの取り付け



◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。
締め付けトルク $10\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

使用工具
8mmボックスレンチ&ショートジョイント



◇チェンジペダルを取り付ける。
締め付けトルク $10\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

使用工具
10mmメガネレンチ

12. フロントフェンダーを取り付ける



◇フロントフェンダー裏側の六角ボルト2本を締めて取り付ける。
締め付けトルク $10\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)

使用工具
10mmボックスレンチ&ショートジョイント

◇タイヤ空気を入れる
◇エンジンから足廻りまで取り付けしたボルト類に緩みがないかチェックする。

13. スロットルケーブルの取り付け

◇ノーマルスロットルケーブルのワイヤリングを外す。



◇六角ナットを緩める。
使用工具
スパナレンチ 14mm



◇スクリュー2本を外し、アッパースロットルハウジングを取り外す。



◇スロットルパイプからスロットルケーブルのインナーケーブルを外す。



◇ロアスロットルハウジングからノーマルスロットルケーブルを取り外す。



◇キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに取り付ける。



◇インナーケーブルをスロットルパイプに接続する。



◇アッパースロットルハウジングを2本のスクリューで取り付ける。
※このとき、前側のスクリューを先に締め付け、後側のスクリューを後に締め付ける。



※ノーマルハンドルの場合、スロットルハウジングの分割部をハンドルの“O”マークに合わせる。

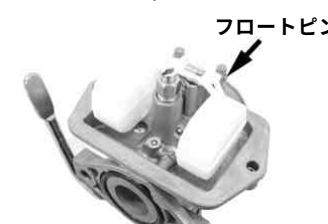
◇スロットルケーブルのワイヤリングをする。

14. メインジェットの交換



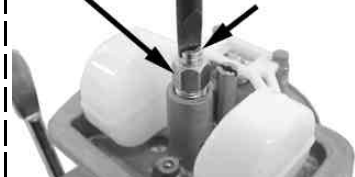
◇2本のスクリューを外してフロートチャンバーを取り外します。

使用工具
ドライバプラス 中



※フロートピンは外れやすいので注意して下さい。

ジェットホルダー



◇メインジェットをジェットホルダーから取り外します。

使用工具
ドライバマイナス 中



◇キットのメインジェットを取り付けます。

使用工具
ドライバマイナス 中



◇フロートチャンバーを取り付け、2本のスクリューでキャブレターに取り付けます。

15. キャブレターの取り付け

インレットパイプガスケット



◇インテイクマニホールドとシリンダーヘッドにインレットパイプガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー6×25 2本で取り付けます。

使用工具
六角棒レンチ 5mm

締め付けトルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



◇PC18キャブレターとインテイクマニホールドにキャブレターガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー6×20 2本で取り付けます。

使用工具
六角棒レンチ 5mm

締め付けトルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



◇PC18キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、スロットルバルブを抜き取る。



◇スロットルケーブルにトップキャップを取り付け、スプリングを入れてインナーケーブルにスロットルバルブを取り付ける。



◇スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに差し込み、取り付けます。



◇キャブレターのくぼみにトップキャップの凸を合わせて取り付けます。

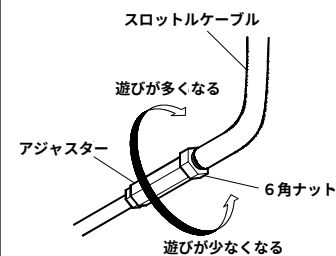
16. スロットルの遊びの調整



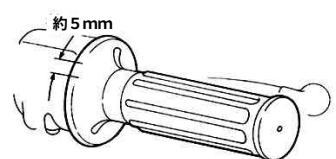
◇スロットルケーブルのブーツをめくり、アジャスターを出す。



◇6角ナットを保持し、アジャスターを緩める。
使用工具
スパナレンチ 8mm
スパナレンチ 10mm



◇アジャスターを回すと遊びが調節出来る。



◇スロットルグリップ部で5mm程度の遊びになるように調整する。

◇アジャスターを固定し、6角ナットを締め付ける。

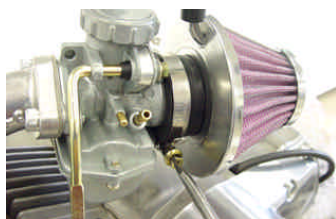
使用工具
スパナレンチ 8mm
スパナレンチ 10mm

◇スロットルをスナップさせ、スロットルバルブがスムーズに動くか確認する。

◇ハンドルを左右にいっぱい切ってもスロットルに遊びがあることを確認する。

◇ブーツをかぶせる。

17. エアフィルターの取り付け



◇バンドをエアフィルターに付け、キャブレターに差し込む。バンドを締め付ける。



◇ストレージタンクのホースをエアフィルターに取り付ける。(フレームNO. AB27の車両の場合)

18. フューエルタンクの取り付け



◇フューエルタンクをフレームに取り付ける。



◇フューエルタンクをフレームにボルトで取り付ける。

使用工具
オフセットレンチ 10mm
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kg f・m)



◇フューエルチューブをキャブレターに接続する。

19. シートの取り付け



◇リアショックの2枚のワッシャの間にシートステーのフックを差し込み、取り付ける。



◇シート下にボルトを差し込み、ナットを取り付ける。
使用工具
ボックスレンチ 12mm
エクステンションバー 小
オフセットレンチ 12mm
締め付けトルク 22 N・m
(2.2 kg f・m)



◇リアショックのナット2個を締め付ける。

使用工具
オフセットレンチ 14mm
締め付けトルク 34 N・m
(3.5 kg f・m)



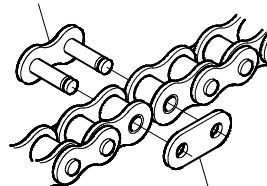
◇サイドカバーを取り付ける。

20. ドライブ（エンジン側）スプロケットの取り付け



◇ドライブチェーンのクリップを取り外す。

マスターリンク



リンクプレート

◇リンクプレートとマスターリンクを取り外し、ドライブチェーンを取り外す。

※作業の際は必ずエンジンを停止すること。



◇ギアを（1速に）入れ、ボルト2本を取り外す。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小



◇プレートを取り外す。



◇ノーマルのスプロケットをシャフトから抜き、チェーンを取り外す。



◇キットのスプロケットをシャフトに差し込む。



◇キットのプレートを取り付け、ボルト2本を取り付ける。

使用工具
ボックスレンチ 10mm
エクステンションバー 小
締め付けトルク 12 N・m
(1.2 kg f・m)

2 1. ドリブン（リアタイヤ側）スプロケットについて

※ドライブスプロケットの変更に伴い、ドリブンスプロケットも変更し、スプロケットのハイギア化を行います。

※ドリブンスプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。

★ハイパーSステージキットSCUTの推奨スプロケット（体重65kg時）

ホイール サイズ	クラッチ	ドライブ スプロケット	ドリブン スプロケット	減速比
8 インチ	ノーマル	16	23	1.43
	強化、スペシャル	16	25	1.56
10 インチ	ノーマル	16	25	1.56
	強化、スペシャル	16	28	1.75

※ドリブンスプロケットはキットに含まれておりません。別途買い求め下さい。

※ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。

レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

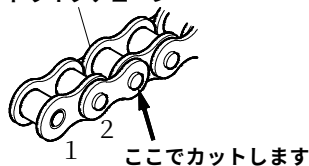
2 2. ドライブチェーンについて

※ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすることは出来ません。チェーンカッター等を使用し、チェーンを短くする必要があります。また、スイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。下の表を参考にして下さい。

★スプロケットとチェーンのリンク数

ドライブ スプロケット	ドリブン スプロケット	スイングアームの長さでチェーンのリンク数				
		ノーマル	4cmロング	8cmロング	12cmロング	16cmロング
13(ノーマル)	31(ノーマル)	74(ノーマル)	—	—	—	—
16	23	72	76	84	90	98
16	25	72	76	84	90	98
16	28	—	—	—	92	100

ドライブチェーン

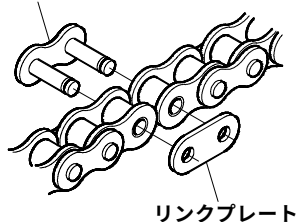


◇例えば、ノーマルスプロケット、ノーマルスイングアームからドライブスプロケット16丁・ドリブンスプロケット23丁に変更する場合、ノーマルチェーンから2リンクカットして下さい。

※作業の際は必ずエンジンを停止すること。

◇ドライブチェーンをドライブスプロケット、ドリブンスプロケットに取り付ける。

マスターリンク



リンクプレート

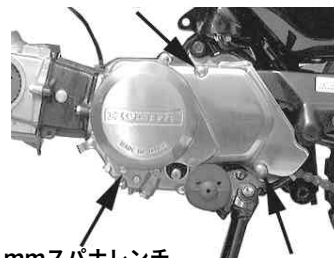
◇マスターリンクを内側から取り付けてドライブチェーンを接続し、リンクプレートを取り付ける。



◇クリップを取り付けます。

※この時、クリップの合い口は進行方向に対して逆に向けること。

2 3. クランクケース左カバーの取り付け



8mmスパナレンチ

◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

使用工具

ボックスレンチ 8mm

エクステンションバー 小

締め付けトルク 10N・m (1.0kgf・m)



◇チェンジペダルを取り付ける。

使用工具

オフセットレンチ 10mm

締め付けトルク 10N・m (1.0kgf・m)

◇エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に緩みがないかチェックする。



◇フューエルコックをONにする。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。

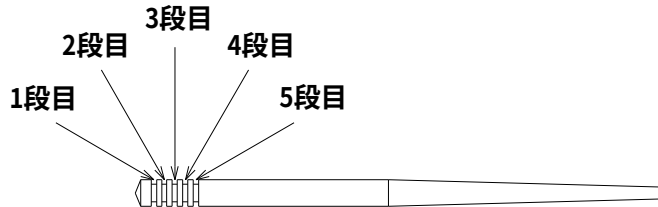
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル (スロットル開度1/4-3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット (スロットル開度3/4-4/4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット (調整前にまずエアスクリーを調整して下さい。)

- ・エアスクリーを戻し量3.0回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリーが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- ・パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリーの再調整が必要です。

○エアスクリー

エアスクリーはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリーを右に回す→混合気が濃くなる。
- ・エアスクリーを左に回す→混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4-1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。

アイドルストップスクリーで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリーで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。